

## Governance ガバナンス

社会・パートナー・お客様からの信頼を醸成し、皆様とともに持続的に成長していくため、社会要求を先取りし、リスクを機会に変え、積極的に行動に移すことで価値創造を推進しています。様々な活動の中で、ステークホルダーの皆様の関心の高い取り組みをご紹介します。

詳しくは、Webサイトをご覧ください

[☞ サステナビリティ > ガバナンス](http://www.bridgestone.co.jp/csr/governance/index.html) www.bridgestone.co.jp/csr/governance/index.html

## ◎ コンプライアンス・公正な競争

私たちは、コンプライアンスと誠実さにより卓越した存在になることをミッションに掲げ、倫理的に意思決定し、業務全般で責任ある事業活動を実行することによって、すべてのステークホルダーの皆様と信頼を築きます。

ブリヂストングループは倫理的な意思決定、コンプライアンスの遵守、事業のあらゆる面で誠実であることを追求しており、そのことが、当社グループの使命「最高の品質で社会に貢献」を具現化し、最高水準の倫理的な意思決定やコンプライアンス遵守の仕組みづくりにつながっています。

当社グループのコンプライアンス活動をはじめとする最高水準の取り組みを遂行するためには、管理者や監督者から成る組織全体のリーダー層が継続的かつ積極的に関与し、コンプライアンス文化を醸成、維持していくことが不可欠です。また、取締役会による監督と関与は、長年にわたり当社グループのコンプライアンスの取り組みを特徴付けています。加えて、当社グループは、コンプライアンスをすべての戦略、実施計画や意思決定の中心に置き、経営層、管理者、監督者の関与を促しています。さらに、コンプライアンスプログラムの進捗や状況について、取締役会の諮問機関であるコンプライアンス委員会に定期的に報告するとともに、グローバルの各地域の取締役会に対しても定期的に報告を行っています。



当社グループがサステナブルなソリューションカンパニーへと進化するために、「行動規範 [☞](#)」や「グローバル贈収賄防止ポリシー [☞](#)」をはじめとする各種ルールや、グローバル及び地域のコンプライアンスプログラムも、変化する環境や規制に継続的に適応・進化させていきます。

当社グループでは長年にわたり、地域に根差したコンプライアンス活動を行ってきました。現在、各地域の取り組みを当社グループ共通の枠組みに統合し、グループとしての一貫性と、地域特有のリスクに効果的に対処できる柔軟性ととのバランスを取りながら活動を推進しています。当社グループの多岐にわたる事業内容及び各地域の地理的状況や法規制によって、リスクそのものが大きく異なる場合がありますが、基盤となる企業理念や経営方針のもと、グローバル共通の枠組みに沿って各地域で活動を展開しています。

[☞ グローバル贈収賄防止ポリシー](#)

[www.bridgestone.co.jp/csr/compliance\\_fair\\_competition/anti\\_bribery/index.html](http://www.bridgestone.co.jp/csr/compliance_fair_competition/anti_bribery/index.html)

[☞ 行動規範](#)

[www.bridgestone.co.jp/csr/compliance\\_fair\\_competition/code/index.html](http://www.bridgestone.co.jp/csr/compliance_fair_competition/code/index.html)

### 》 各地域や国での2022年の取り組み

日本では、グループ会社を含め全従業員を対象に3年連続でアンケートを実施し、10,000人以上から回答を得ました。その結果を通して、コンプライアンスの取り組み、「行動規範」、「グローバル贈収賄防止ポリシー」、懸念事項を報告するための様々なツールや窓口に関する理解度を把握しました。

欧州、中東、インド及びアフリカを含む地域では、新たに独占禁止法遵守プログラムを開始し、対象となる1,000人以上の従業員が本プログラムに関する研修を受講しました。また12月には、お客様向けにコンプライアンスについて解説した冊子「BSEMIA Compliance Essentials」をデジタルで展開し

ました。この冊子には、独占禁止法遵守プログラムの概要に加え、主なコンプライアンス関連目標、方針、期待されている事項を記載しています。

中国・アジア大洋州地域では、独占禁止に関する枠組みを新たに立ち上げ、対象となる従業員に対し、主要方針、「業界団体」及び「競合情報分析」の2つのガイドラインに関する対面研修を実施しました。また、年間の重点施策の一環として、インテグリティ・デーを継続的に開催しました。シンガポール、中国、マレーシア、韓国、ベトナムでは、「Bridgestone E8 Commitment」の実現に向けて、「正しい行動をとる」を共通のテーマに、全階層を対象としたインテグリティ・デーのイベントを開催しました。

米州では、「競合情報分析」について新たな方針を制定したほか、2021年後半に制定した現地の「贈答、会食、接待、出張に関するポリシー」に関する従業員研修を継続しました。また、独占禁止に関するプログラムを推進するためのデータ分析プラットフォームを2023年に試験的に導入しました。さらに、年間を通じて管理者や監督者にコンプライアンスの取り組みを進めるよう継続して働きかけています。この取り組みの一環である第8回「倫理・コンプライアンス週間」ではリーダーシップによる公開討論会や「誠実さを伴うリーダーシップの表彰」、ゲームを活用した研修「Bridgestone Compliance Battle Royale」などが行われました。



シンガポールでのインテグリティ・デーのインセンティブ

## 》 行動規範改定

2022年末の「行動規範」の改訂を受け、2023年は、従業員の「行動規範」への理解や遵守を促す新たなeラーニングのコースを導入し、引き続き「行動規範」の浸透に取り組んでいきます。また、「行動規範」の改訂を反映することに加え、「Bridgestone E8 Commitment」の実現に向けた「グ

ローバル贈収賄ポリシー」の更新を予定しています。

2018年に制定・公表し、2022年末に改訂した当社グループ「行動規範」は、従業員が誠実さをもって行動するための心強いガイダンスとなっています。Global CEOが「行動規範」の改訂にあたって発信したメッセージでも、「ブリヂストンにおいては常に行動規範を指針とし、誠実さをもって行動する」ことが各従業員に求められています。

また、贈収賄防止や公正な取引に関する活動は、セクシャルハラスメントやデータプライバシーなどと共に、当社グループの「行動規範」や「グローバル贈収賄防止ポリシー」で対象としている事項の一つであり、その取り組みがますます厳しく問われる中で、ミッションを行動に移すことが一層重要になってきています。

## 》 倫理・コンプライアンスプログラム推進

第三者との取引におけるコンプライアンスプログラムをさらに強化し、贈収賄リスクを低減するため、2023年には高リスクと判断される種類の取引を行う代理店様等の審査をグローバルで実施し、これらの代理店様等との関係において適切な統制が行われているかどうかを確認する予定です。

また、当社グループの事業や経営が進化し続ける中においても、コンプライアンスプログラムが常に適切であり、十分なリソースが充てられ、実効的に機能するよう、その適応のあり方についても検討していきます。当社グループは、自己評価によってこれを実践するとともに、2024年にはコンプライアンスプログラムの評価支援を行う第三者機関との協働を開始し、更なる体制強化を図っていきます。